

## 令和7年度（横浜桜陽高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令順守意識の向上	公務員としての倫理意識の向上・徹底を図り県民の信頼に応える。	・ 8月、2月に啓発資料を用いて不祥事防止研修を実施。法令等に定められた趣旨や背景について理解を深め、意識の向上を図った。
職場のハラスメントの防止	職員の人権を尊重し、パワハラ、セクハラやマタハラ等の行為を未然に防ぐ。	・ 1月に啓発資料を用いて不祥事防止研修を実施。ハラスメント行為に関する認識を深め、ハラスメント行為の未然防止を徹底した。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、わいせつやセクハラ行為を未然に防ぐ。	・新採用教員を対象に不祥事防止研修用映像資料「不祥事を自分事として考える」を活用した研修を実施した。 ・5月に啓発資料を用いて不祥事防止研修を実施。わいせつやセクハラ行為が重大な人権侵害であるという意識を徹底した。
体罰、不適切な指導の防止	生徒への体罰、携帯電話による電子メール等の不適切な使用を未然に防ぐ。	・ 7月に啓発資料を用いて不祥事防止研修を実施。体罰、不適切な指導に関する知識を深め、体罰の未然防止を徹底した。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故の防止	成績処理および通知票、調査書発行及び推薦会議に係る事故の発生を未然に防ぐ。	・ 6月に成績処理に関するマニュアルの周知を徹底するとともに、手順を段階的に確認し、事故を防いだ。 ・ 7月に「指定校推薦マニュアル」を使用して調査書、推薦書の作成・発行手順及び推薦会議の進行等について確認した。
入学者選抜業務における事故の防止	入学者選抜における事故を未然に防止する。	・ 12月に啓発資料を用いて不祥事防止研修を実施。ミスの許されない業務であることを再確認した。 ・ 1月に「入学者選抜に係るマニュアル」に係る校内研修会を実施。入学者選抜業務の流れを周知するとともに、各自の業務分担を確認した。また、「ミスを起こさない、起こさせない」ための環境作りを目標として職員全体で入学者選抜業務にあたることを確認した。 ・ 2月に採点の校内研修を実施。採点の手順について、職員への周知を徹底した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報管理を徹底し、個人情報の漏洩や不正利用を未然に防ぐ。	・ 4月に個人情報の収集及び持ち出しに関する手続きの周知を徹底し、個人情報の漏洩を防いだ。 ・ 9月に啓発資料を用いて不祥事防止研修を実施。個人情報に関する意識の向上を図った。

会計事務等の適正執行	公費、私費ともに、現金管理や会計処理上の事故・不祥事を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計担当者に向け研修を実施し、伝票処理、保護者への通知、支払等について適正かつ速やかな執行に向けた意識向上を図った。また、担当者マニュアルを作成し、迅速かつ適正な処理を行う体制を構築した。</li> <li>・中間監査に向け、帳簿等の再点検を行い、適正な執行を図った。</li> <li>・10月に啓発資料を用いて不祥事防止研修を実施。適切な会計処理に向け、職員の意識向上を図った。</li> </ul>
業務適正執行	諸業務の執行において、規定を順守するとともに、情報の共有、相互チェック、協力体制を徹底し、事故を未然に防ぐ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームとして業務に当たり、相互点検を通じて適正に業務を遂行した。</li> <li>・啓発資料を用いて不祥事防止研修を実施。服務等に関する手続きについて確認した。</li> </ul>

### ○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

- ・不祥事ゼロプログラムの計画に従い、不祥事防止会議及び研修、個人点検を行うことができた。その結果、職員一人ひとりが「不祥事をなくす」ことへの意識を高めることができた。
- ・成績処理や指定校推薦会議、入学者選抜等、業務の開始に当たりマニュアルの確認を行って注意を喚起し、事故防止に向けた意識向上を図ることができた。研修等を通じて、「緊張感をもって業務にあたること」、「複数の目で確認することの大切さ」を再認識することもできた。
- ・今後も規定を遵守し、相互チェック体制を徹底し、チームとして職員全体で業務を遂行し、事故、不祥事を起こさない職場づくりに職員全体で取り組む。